令和５年度輸出先国・地域における規制等への対応の強化委託事業

概要レポート(第８回)：欧州議会選挙の結果と新体制

Eurovision & Associates

2024 年 11 月

目次

1　はじめに 1
2　2024 欧州議会選挙の概要 1
3　欧州議会の政治グループ 2
4　欧州議会の専門委員会 4
5　欧州議会による主要人事の人選 6
5.1　欧州議会議長の選出 6
5.2　欧州委員会幹部の人選権限 6
6　結びに代えて 7

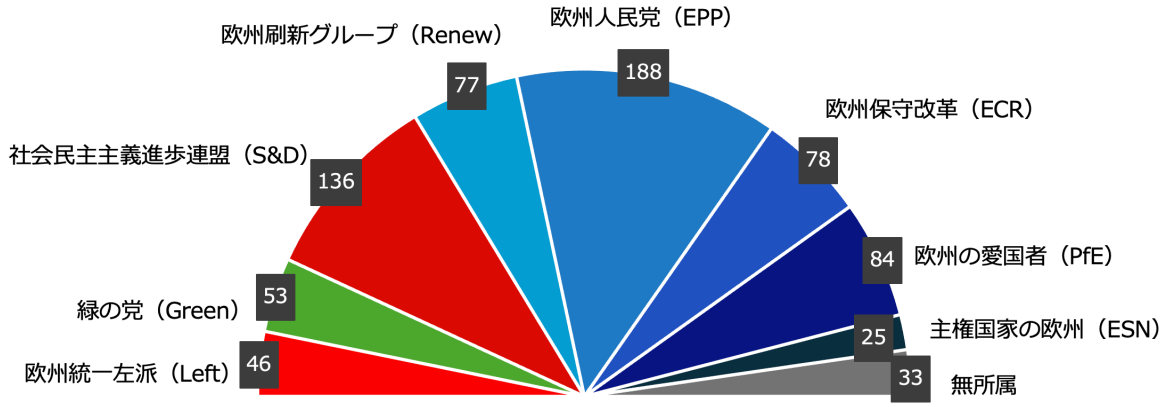
1　はじめに

EU3 機関の中で、欧州議会は、唯一市民による直接選挙で選出されることから、EU 市民を代表する機関と言われる。欧州議会議員は、27 の EU 加盟国から 5 年の任期で選出される。2024 年 6 月に実施された欧州議会選挙では、議員数が 705 名から 720 名に増加した。欧州議会の重要な役割の一つは、EU 理事会と同じく、欧州委員会から提案された法案の審査と改正、採択である。これらに加えて、欧州議会は EU の予算承認も担っている [1]。このように、欧州議会は EU が機能していく上で重要な役割を担っている。本レポートでは、2024 年 6 月に実施された欧州議会選挙の結果とそれに伴う新欧州議会の体制とその役割について取りまとめた。

2　2024 欧州議会選挙の概要

2024 年 6 月に実施された欧州議会選挙結果に関し、特筆すべき点は、右派・極右派の台頭である。今回の選挙結果では、右派・極右派　に属する 3 政治グループで合計 187 議席を獲得し、2019-2024 前会期の 2 政治グループによる 118 議席から、69 議席増の結果となった [2]。今回の選挙で右派・極右議員が多数を占めた EU 加盟国は、フランス、イタリア、オーストリア、ハンガリーである [3]。右派・極右派の台頭は、ロシアによるウクライナ侵攻によって生じた、エネルギー高騰や物価高、移民増加などによって生活に悪影響を受けた EU 市民の声が反映されたものとみることができる [4]。また、これらの右派・極右派は農家にも支持を広げている。物価やエネルギー価格高騰の影響を受けた農家を支援する政策を展開していることが、これらの政治グループが支持を受けている要因である [5]。選挙の結果は、前回に引き続き、中道右派の欧州人民党（EPP）と中道左派の社会民主主義進歩連盟（S&D）がそれぞれ第一、第二の政治グループを維持する結果となったが、右派・極右派が第三・第四政治グループとなった。最終的な政治グループ別の選挙結果は以下の通り [6]。

欧州議会最新の選挙結果



[1] https://www.europarl.europa.eu/about-parliament/en/powers-and-procedures/budgetary-powers
[2] https://results.elections.europa.eu/en/tools/comparative-tool/
[3] https://www.eesc.europa.eu/en/news-media/press-releases/far-right-surge-eu-elections-sparks-concerns-democracy
[4] https://www.euronews.com/business/2024/05/22/eu-elections-what-happens-if-the-far-right-parties-gain-more-power
[5] https://www.euronews.com/business/2024/05/22/eu-elections-what-happens-if-the-far-right-parties-gain-more-power
[6] https://results.elections.europa.eu/en/

3　欧州議会の政治グループ

2024 年の欧州議会選挙を経て、現在、欧州議会は、8 つの政治グループに所属する議員と無所属議員によって構成されている。なお、今回の選挙では、新たに、2 つの極右派政治グループ（欧州の愛国者（PfE）と主権国家の欧州（ESN））が誕生した。PfE は、ハンガリーのオルバーン・ヴィクトル首相によって設立され、同選挙で議席を獲得した極右派政党のアイデンティティと民主主義グループ（ID）を吸収したことで欧州議会での議席を獲得した。ESN は当初、ID と合流する予定であったが、スキャンダルにより、同グループより除名、新会派を立ち上げるに至った。PfE と ESN の両者とも極右的な政治思想を持っており、EU に対しては懐疑的で、各 EU 加盟国の主権の確保を目指した政党である。また、これらの政治グループは、保護主義的であることから、現段階で具体的な各分野の政治的マニフェストはないものの、農業分野では、安価で EU 基準に沿わない第三国からの農産物の EU への輸入を増やす自由貿易協定や、農家の負担になるようなグリーンディール政策の実施などに対して懐疑的な姿勢を持つことが予想される。各政治グループの概要と農業に関する政治的姿勢は以下の通り。上述の通り、既述の新規 2 政治グループについては、農業に関する具体的な政策についてはまだ発表されていないため、同グループの政治マニフェストを基に推定される農業政策を記すものとする。

政治団体	政治姿勢
欧州人民党（European People's Party ：EPP）[7]	中道右派で欧州議会最大の政治グループ。共通農業政策に代表される既存の枠組み内で、農業従事者の適正収入の確保や市場保護、エネルギー価格の高騰や地政学的危機への対応、農家の不要な事務的負担の軽減を目指す。また、持続可能な農漁業の実施に向けた新技術の積極的な導入や若者の農漁業従事者の増加を目指す。 著名な政治家：ウルズラ・フォンデアライエン欧州委員会委員長
社会民主主義進歩連盟（Progressive Alliance of Socialists and Democrats in the European Parliament ：S&D）[8]	中道左派で欧州議会の第二政治グループ。農業政策においては、CAP 枠組下で、特に、若手農家、女性、小規模農家などに対する支援に注力する。殺虫剤の使用削減や、土壌管理の向上、生物多様性の保護などの持続可能な農業の実施や資金や技術支援の実施を掲げている。 著名な政治家：アントニオ・コスタ新欧州理事会常任議長
欧州刷新グループ（Renew Europe Group ：Renew）[9]	中道右派の政治グループ。農業政策においては、環境面と農家の支援の両立や農家の事務的負担の削減を目指す。他にも、NGT 技術の承認や、植物保護製品（PPP）の承認プロセスの改善、FTA などを用いた他国からの輸入製品の EU 基準の遵守、安価だが農学的価値の高い加工堆肥の使用承認、EU 加盟国に対し、バイオガスなどの再生可能燃料への課税引き下げ要請などを掲げている。 著名な政治家：カヤ・カラス新 EU 外務・安全保障政策上級代表兼欧州委員会副委員長（エストニア）

[7] https://www.epp.eu/files/uploads/2024/03/Manifesto_2024.pdf
[8] https://pes.eu/wp-content/uploads/2024/03/2024_PES_Manifesto_EN.pdf
[9] https://app.box.com/s/cuaz0v8d623aak5k3i58fqqogduuuqcy

欧州保守改革（European Conservatives and Reformists Group：ECR）[10]	右派の政治グループ。農業政策においては社会、環境面の持続可能性と農家（農家の家族や農村地域を含む）支援の両立を主張。EU 製品に対する地理的保護の強化を通じて EU 製農産物の保護を目指す。また、食料安全保障の観点から、全ての欧州市民にとって安価で良質な農産物の供給を目指す。 著名な政治家：ジョルジア・メローニ首相（イタリア）
欧州の愛国者（Patriots for Europe Group：PfE）[11]	極右派の政治グループ。農業に関する具体的な政策は不明であるものの、保護主義、伝統主義を掲げている点から、ETA などによる第三国の農作物製品の EU への流入や、GMO や NGT など、伝統的な農家の存続に関わる技術などには反対の姿勢を示すと思われる。 著名な政治家：オルバーン・ヴィクトル首相（ハンガリー）
主権国家の欧州（Europe of Sovereign Nations Group：ESN）[12]	極右派の政治グループ。ドイツの極右政党「ドイツのための選択肢（AfD）」を中心に、8 加盟国の 25 議員が参加。農業に関する具体的な政策は未発表だが、EU の超国家的な性質によって発生した官僚主体の体質の否定や、持続可能な EU 域外国への依存脱却や加盟国の経済安定などの指針から、農家に対しての事務的負担の削減や、EU 域内での農産物生産性の向上、新規農家を勧誘するための金銭的支援などの政策などの実施を掲げるものと思われる。 著名な政治家：Alice Weidel 議員（ドイツ連邦議会議員）
緑の党（Group of the Greens/European Free Alliance：Green）[13]	左派の政治グループ。農業政策に関して、農家の妥当な収入の確保や第三国の農産物からの保護政策を主張。加えて、持続可能な農業な農業である有機農業やアグロエコロジカル農業への移行とそれらの農業に対する資金援助の強化を主張。他にも、植物性タンパク源部門の強化や同製品の普及を主張に加えて、GMO 技術を用いた製品に対する厳しい管理や殺虫剤の 2030 年までに使用率の半減、農業におけるアニマルウェルフェアの保護を目指している。 著名な政治家：Bas Eickhout 欧州議会議員（オランダ）[14]
欧州統一左派（The Left group in the European Parliament：Left）[15]	極左の政治グループ。農業政策に関しては CAP の改革を目指しており、地域別に資金を配分する制度を徐々に廃止し、持続可能な農業に関する資金支援の増額を目指している。他にも、農家の公正な収入源の確保や、良質な農業製品の供給、土壌保護、食料主権や気候変動の緩和、生物多様性の保護を目指した取り組みを CAP に導入することを目指している。加えて、EU 農家や環境目標の達成にあたって障害となりうる第三国との自由貿易協定の破棄を目指している。 著名な政治家：Martin Schirdewan 欧州議会議員（ドイツ）[16]

[10] https://www.europaportalen.se/sites/default/files/dokument/ECR%20valmanifest%202024.pdf
[11] https://www.vlaamsbelang.org/sites/default/files/2024-07/Manifesto.pdf
[12] https://esn-party.eu/political-program
[13] https://www.datocms-assets.com/87481/1713876249-manifesto_2024.pdf
[14] https://www.europarl.europa.eu/meps/en/96725/BAS_EICKHOUT/home
[15] https://www.european-left.org/wp-content/uploads/2024/03/2024-Manifesto-English-European-Left.pdf
[16] https://www.europarl.europa.eu/meps/en/190517/MARTIN_SCHIRDEWAN/home

4　欧州議会の専門委員会

欧州議会の専門委員会は副専門委員会を含めて、24 の委員会が存在する。これらの委員会の主な役割は、欧州委員会が提案した法案の審議と改正案の作成である。欧州委員会による法案の提案後、欧州議会議長によって、担当する専門委員会が任命され、同委員会内で、報告者（Rapporteur）による主導のもと、提案内容の審議を行う。報告者の選定は、一般的には、担当する専門委員会内で選定されるとしているが、実際は、政治グループによるポイントを用いた入札形式が採用されている。各政治グループは、それぞれの規模に応じて与えられたポイントを用いて、オークション形式で当該委員会に所属する自グループの欧州議会議員の中から報告者を指名する [17]。報告者は、政治グループや専門家との協議や、公聴会を開催し、法案に関する関連情報を収集し、修正案を含む報告書の草案を作成する役割に加えて、EU 理事会や欧州委員会と交渉する役割を負う [18]。

また、各委員会の委員長（Committee Chairs）は、フランスのストラスブールでの欧州議会本会議が行われる週の火曜日に月一度の頻度で実施される委員長会議（Conference of Committee Chairs）を開催する [19]。同会議の議長は、委員長の中から選出され、任期は二年半となる [20]。この任期は委員会の専門委員長の任期に連動している。同会議の役割は、主に、欧州議会本会議で審議される議題のアジェンダを全体会議の準備を担当する議長会議（Conference of President ）に提出、複数の委員会が関連する問題については協力機会を提供し、欧州委員会と EU 理事会議長国に対して欧州議会の優先順位の高い政策分野を共有し、各政策における進捗を確認することである [21]。現在の委員長会議の議長は、国際貿易委員会の委員長を担っているドイツの Bernd LANGE 議員が務めている。

以下の表は、農業、環境、公衆衛生、漁業分野を担当する委員会の議長と副議長と政治グループ別人員構成、現在担当している案件をとりまとめたものである。農業・農村開発委員会と環境・公衆衛生・食品安全委員会の委員長に、それぞれ右派議員と中道左派議員が選出さており、農家の保護に積極的な右派と環境分野に積極的な左派の意向が反映された結果であると言える。

農業・農村開発（AGRI）委員会 [22]

<table>
<tr><th>主要メンバー</th><th>政党</th><th>役職</th><th colspan="8">政治グループ別議員数</th></tr>
<tr><td>Veronika VRECIONOVÁ</td><td>ECR</td><td>委員長</td><td rowspan="2">EPP
26</td><td rowspan="2">S&D
18</td><td rowspan="2">Renew
10</td><td rowspan="2">PfE
12</td><td rowspan="2">ECR
10</td><td rowspan="2">Left
6</td><td rowspan="2">Green
8</td><td rowspan="2">ESN
3</td></tr>
<tr><td>Daniel BUDA</td><td>EPP</td><td rowspan="3">副委員長</td></tr>
<tr><td>Norbert LINS</td><td>EPP</td><td colspan="8" rowspan="2">合計：97</td></tr>
<tr><td>Eric SARGIACOMO</td><td>S&D</td></tr>
<tr><th colspan="11">現在進行中で取り組まれている案件（一部抜粋） [23]</th></tr>
</table>

[17] https://www.europarl.europa.eu/RegData/presse/pr_post_story/2006/EN/03A-DV-PRESSE_STO(2006)07-25(09938)_EN.pdf
[18] https://www.europarl.europa.eu/cmsdata/255709/OLP_2020_EN.pdf
[19] https://www.europarl.europa.eu/about-parliament/en/organisation-and-rules/organisation/political-bodies
[20] https://www.europarl.europa.eu/meps/en/1909/BERND_LANGE/home
[21] https://www.europarl.europa.eu/committees/en/about/conference-of-committee-chairs
[22] https://www.europarl.europa.eu/committees/en/agri/home/members/pdf
[23] https://www.europarl.europa.eu/committees/en/agri/documents/work-in-progress?textualSearch=&memberRole=&rapporteurPersId=&committeeRole=MAIN&politicalBodyRefNum=&procedureYear=&procedureNum=&procedureCodeType=COD&term=10&page=0

- 第三国で製造された森林繁殖材料に関する分類とそのラベル表示と認証機関に関する規則案
- 輸送中の動物の保護に関する規則案
- 欧州の森林レジリエンスの管理枠組みに関する規則案（ENVI 委員会と共同で担当）

環境・公衆衛生・食品安全委員会（ENVI）委員会 [24]

主要メンバー	政党	役職	政治グループ別議員数							
Antonio DECARO	S&D	委員長	EPP 48	S&D 34	Renew 20	PfE 21	ECR 20	Left 12	Green 14	ESN 5
Esther HERRANZ GARCÍA	S&D	副委員長								
Pietro FIOCCHI	ECR		合計：178							
Anja HAZEKAMP	Left									
András Tivadar KULJA	EPP									
現在進行中で取り組まれている案件（一部抜粋） [25]										
• 土壌管理に関する規則案 • 廃棄物枠組み指令における繊維、食品廃棄物に関する指令案 • 輸送サービスによる温室効果ガス排出量算定に関する規則案										

公衆衛生（SANTE）委員会 [26]

主要メンバー	所属政党	役職	政治グループ別議員数							
Adam JARUBAS	EPP	委員長	EPP 16	S&D 12	Renew 6	PfE 5	ECR 6	Left 4	Green 4	ESN 2
Tilly METZ	Green	副委員長								
Stine BOSSE	Renew		合計：57 名							
Emmanouil FRAGKOS	ECR									
現在進行中で取り組まれている案件（一部抜粋） [27]										
• なし										

漁業（PECH）委員会

[24] https://www.europarl.europa.eu/committees/en/envi/home/members/pdf

[25] https://www.europarl.europa.eu/committees/en/envi/documents/work-in-progress?textualSearch=&memberRole=&rapporteurPersId=&committeeRole=MAIN&politicalBodyRefNum=&procedureYear=&procedureNum=&procedureCodeType=COD&term=10&page=0

[26] https://www.europarl.europa.eu/committees/en/sant/home/members/pdf

[27] https://www.europarl.europa.eu/committees/en/sant/documents/work-in-progress?textualSearch=&memberRole=&rapporteurPersId=&committeeRole=MAIN&politicalBodyRefNum=&procedureYear=&procedureNum=&procedureCodeType=&term=10&page=0

<table>
<tr><th>主要メンバー</th><th>政党</th><th>役職</th><th colspan="8">現在進行中で取り組まれている案件（一部抜粋）[28]</th></tr>
<tr><td>Carmen CRESPO DÍAZ</td><td>EPP</td><td>委員長</td><td>EPP 14</td><td>S&D 9</td><td>Renew 6</td><td>PfE 6</td><td>ECR 6</td><td>Left 4</td><td>Green 4</td><td>ESN 2</td></tr>
<tr><td>Sander SMIT</td><td>EPP</td><td rowspan="4">副委員長</td><td colspan="8" rowspan="3">合計：53 名</td></tr>
<tr><td>Giuseppe MILAZZO</td><td>ECR</td></tr>
<tr><td>Stéphanie YON-COURTIN</td><td>Renew</td></tr>
<tr><td>Jessica POLFJÄRD</td><td>EPP</td></tr>
<tr><th colspan="11">現在進行中で取り組まれている案件（一部抜粋）[29]</th></tr>
<tr><td colspan="11">• 非持続可能な漁業を許可している第三国との関連における漁業資源の保存を目的とした措置に関する改正規則案
• 地中海一般漁業委員会協定（General Fisheries Commission for the Mediterranean：GFCM）水域における漁業に関する規則案
• 漁業機会の目標に関する規則案</td></tr>
</table>

5 欧州議会の主な人選

5.1 欧州議会議長の選出

欧州議会議長は、欧州議会議員によって無記名投票の形で、欧州議会選挙後の第一回目の本会議で選出される。欧州議会議長の候補者は、政治グループ、もしくは、最低 36 名の欧州議会議員による推薦によって擁立される。投票形式は絶対多数決を採用しており、当選には、欧州議会議員の過半数の支持を獲得しなければならない。仮に、全ての候補者が、過半数の投票を獲得できなかった場合、上位二名による決選投票が実施され、投票の多い候補者が、議長として選出される [30]。7 月 16 日に実施された本会議にて、マルタ共和国出身のロベルタ メツォラ氏が EPP による推薦により、過半数を超える 562 票を獲得し、前会期に引き続き 2 期目の当選となった [31]。

5.2 欧州委員会幹部の人選権限

欧州議会の選挙結果は、欧州委員会の人事にも大きな影響を及ぼす。各政治グループは、欧州議会選挙前に、次期欧州委員会委員長の候補者を擁立し、選挙後、第一党から推薦を受けた候補者が、次期欧州委員会委員長の第一候補者となる [32]。同候補者は、EU 加盟国首脳で構成される欧州理事会による承認を受けた後、新欧州議会本会議の投票で正式に承認される。なお、承認にあたっての投票方法は、欧州議会議長と同様に、絶対多数決方式が採用され、欧州議会議員の過半数の賛成を得る必要がある。今回の欧州議会選挙では、前会期に引き続き、EPP が第一政治グループとなったため、同政治グループが推薦するフォン デアライエン氏が前会期に

[28] https://www.europarl.europa.eu/committees/en/sant/documents/work-in-progress?textualSearch=&memberRole=&rapporteurPersId=&committeeRole=MAIN&politicalBodyRefNum=&procedureYear=&procedureNum=&procedureCodeType=&term=10&page=0

[29] https://www.europarl.europa.eu/committees/en/sant/documents/work-in-progress?textualSearch=&memberRole=&rapporteurPersId=&committeeRole=MAIN&politicalBodyRefNum=&procedureYear=&procedureNum=&procedureCodeType=&term=10&page=0

[30] https://elections.europa.eu/en/parliament-president/

[31] https://www.europarl.europa.eu/news/en/press-room/20240710IPR22805/roberta-metsola-re-elected-as-president-of-the-european-parliament

[32] https://elections.europa.eu/en/commission-president/

引き続き、欧州委員会委員長の第一候補者となった[33]。同氏は、6 月 27 日に欧州理事会による承認を得て、7 月 18 日の欧州議会の本会議で、過半数を超える 401 票を獲得して再選する結果となった[34]。これに加えて、欧州議会は、欧州委員会委員長が任命した各分野の欧州委員の承認権限を保有しており、2024 年 11 月現在、欧州議会による各欧州委員候補の承認に向けた公聴会が実施されており 11 月 27 日に実施された欧州議会の全体会議において、擁立された全欧州委員候補が承認された[35]。農業・食品、公衆衛生・アニマルウェルフェア、気候変動・ネットゼロ、環境部門を担当する欧州委員会担当委員は以下の通り。

分野	担当委員
農業・食品	Christophe Hansen 氏（ルクセンブルグ）
公衆衛生・アニマルウェルフェア	Olivér Várhelyi 氏（ハンガリー）
気候変動・ネットゼロ	Wopke Hoekstra 氏（オランダ）
環境	Jessika Roswall 氏（スウェーデン）

6　結びに代えて

2024 年の欧州議会の選挙では、右派・極右派勢力が台頭した。しかし、極右派政党に関して言えば、欧州委員会の専門委員会では、新たに発足した PfE や ESN 所属の議員からの委員長の選出はなかった。ただし、農業・農村開発委員会などの一部の委員会は、既存の右派政治グループである ECR 所属の議員が委員長として選出された。また委員会のメンバーに目を向けると、AGRI 委員会と ENVI 委員会では中道右派を含めると 6 割以上が右派・極右派の議員で占める結果となった。一方で、第二会派の S&D は、欧州議会選挙後に、最大会派の EPP に対して、極右派との連立を拒否している[36]ことから、専門委員会にて、極右派の議員が報告者となり、極右的な法案の改正を行う場合、欧州議会内での統一見解の採択が難航する可能性がある。実際に、S&D の上述の発表があったにもかかわらず、EPP は森林減少の防止に関する規則（EU Deforestation regulation：EUDR）について、S&D を初めとする左派が反対する同規則に対する緩和措置を採択したことから[37]、EPP は、時々の情勢に合わせて都度連立を形成していくことが予想される。しかし、このような EPP の対応には、S&D を含む左派からは否定的な反応が出ている[38]。

以上

[33] https://www.consilium.europa.eu/en/european-council/role-nominations-appointment/2024-nomination-process/
[34] https://www.europarl.europa.eu/news/en/press-room/20240710IPR22812/parliament-re-elects-ursula-von-der-leyen-as-commission-president
[35] https://www.europarl.europa.eu/news/en/press-room/20241121IPR25546/parliament-approves-the-von-der-leyen-ii-commission
[36] https://www.socialistsanddemocrats.eu/newsroom/leading-progressive-group-sds-will-work-pro-european-and-democratic-majority
[37] https://www.politico.eu/article/epp-far-right-deforestation-rules-lawmakers-proposal-socialists-climate-change/
[38] https://www.politico.eu/article/epp-far-right-deforestation-rules-lawmakers-proposal-socialists-climate-change/